

開催  
報告②

# 写真と俳句展 ～小学校5年生たちのまなざし～

開催しました!



横浜市民ギャラリーあざみ野は、地域に根差す文化施設として、アートを通して人と人が交流する市民と創造活動の「出会いの場」をつくることを目的に、学校との連携にも取り組んでいます。また、当館には約12,000件に及ぶ横浜市所蔵カメラ・写真コレクションが収蔵されており、写真を映像やテーマにした子ども向けの事業も展開しています。

今年度もその活動の一つとして、5月から7月にかけて当館から近い慶應義塾横浜初等部と横浜市立山内小学校の5年生を対象に写真ワークショップを開催しました。ワークショップは各クラス2回ずつ実施。1回目は当館に収蔵されている横浜市所蔵カメラ・写真コレクション



の紹介を交えながら、カメラの扱い方や写真を撮るときの工夫についてお話ししました。写真撮影は宿題として、子どもたちは一人一台のデジタルカメラを手に、学校や家、街中で自分の心が動くものを探してシャッターを押しました。特に盛り上がったのが2回目のワークショップ。子どもたちは撮影した写真を見せ合い、他の人の意見に耳を傾けながら、最後は自分の意志で写真を1枚選びました。後日、先生指導のもと写真に合わせた俳句を添えて作品が完成しました。

10月に開催した「写真と俳句展」の会場には総勢207名の子どもたちの作品が並びました。今を生きる子どもたちの豊かな視点や、つい笑みがこぼれるユニークな言葉選びに心が和む展覧会となりました。

2023年10月7日(土)～10月15日(日)全9日間  
会場：展示室2 協力：慶應義塾横浜初等部、横浜市立山内小学校(五十音順) 展覧会入場者数609名

# アート あざみ野

— 横浜市民ギャラリーあざみ野情報誌 —

vol. 66  
2024.01 - 2024.04



巻頭  
特集

## 50回の節目を迎えた2つのミニギャラリー Showcase Gallery & Fellow Art Gallery

エントランス天井パネル交換工事のため臨時休館

2024/2/1(木)～3/11(月) 40日間 \*詳細は裏表紙をご覧ください

## Showcase Gallery ショーケースギャラリー

エントランスの小空間を使って、今後、活躍が期待される若手アーティストの作品を展示する「Showcase Gallery」。様々な目的で来館される方に、いつでもアート作品を楽しんでいただきたい、そんな思いからスタートしました。2010年の開始以来、50人のアーティストが、ショーケースという特徴のあるスペースを活かした表現に実験的かつ積極的に取り組んできました。

近年は「アーティスト×横浜市所蔵カメラ・写真コレクション」「黄金町エリアマネジメントセンター連携企画」「陶の表現」の3つのテーマで展示を構成しています。また、2020年からは、作家へのインタビューを展示の様子と共に動画でご紹介しています。



2016年度の出品作家 対木裕里さんは、その後2021年に「あざみ野コンテンポラリー vol.12」で個展を開催。ショーケースギャラリーの出品作家は、その後も様々な場所で活躍されています。

Photo : Kato Ken

これまでのインタビュー動画はこちら



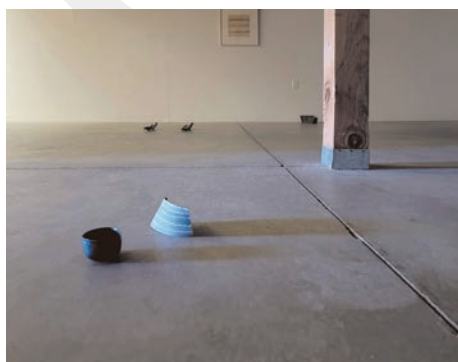
### シリーズ 陶の表現 進藤詩子展

2024/3/16(土) - 5/26(日)

●1階エントランスロビー

日常に潜む「翻訳不可能なもの」に着目し、ドローイングや陶を使ったインスタレーションに取り組む進藤詩子の新作を展示します。

また3/20(水・祝)と3/30(土)には、関連ワークショップを開催します。(詳細は7ページをご覧ください)



個展「the night falls and the day break」/ 2022年 / 5.galleryでの展示風景 (Santa Fe, USA)

表紙画像下: Showcase Gallery 50回目の展示「鈴木のみ展」の様子(2023/7/15 ~ 9/18) Photo: Kato Ken

### 展覧会 Pick Up

## 現代アート Private Collection

2024/4/24(水) ~ 5/5(日・祝)

●会場: 展示室1・2 全室 ●開場時間: 10:00 ~ 18:00 ●料金: 入場無料

主催: 現代アート Private Collection 実行委員会  
共催: 横浜市民ギャラリーあざみ野(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)

三つの個人コレクション、「Joytech Collection」「照井コレクション」「G Foundation Collection」の所蔵品を紹介。いずれも、パブリック・コレクションと呼ばれる美術館などの公的機関によるコレクションとは対極的に、他者に阿ることのない独自の感性によって形成されてきた現代美術コレクションです。個人蒐集家・コレクターと呼ばれるようなささやかで趣味的な収集活動から始まり、およそ15~20年にわたって粛々と集められたコレクションは、現在までにそれぞれ数百点に至っており小規模な公的コレクションにも迫ります。三者が文字通り心血を注いで集めてきたコレクションは、アカデミズムでもなく、承認欲求でもなく、歴史的価値でもなく、資産的価値でもなく、ただ一個の作品の力が一人の人間の心を突き動かしたという圧倒的なリアリティの蓄積です。それらを一堂に会することで、公的な美術史には未だ記述されていない極めて同時代的かつアクチュアルな日本現代美術がそこに現れてくるはずです。

会期中にはトークイベント、ワークショップの開催、教育・福祉関連への募金活動なども実施予定です。

「Showcase Gallery」と「Fellow Art Gallery」が今年、50回の節目を迎えました。

2010年度の開始から10年以上続いてきた両シリーズを、改めてご紹介します。

## Fellow Art Gallery フェロアートギャラリー

2010年から障がいのあるアーティストたちの作品を紹介している「Fellow Art Gallery」は、これまでに50組のアーティストに出品いただきました。「Fellow」には「なにかま」という意味があり、誰もが障がいのあるなしで区別されることなく、同じ地平で認め合える豊かな関係性が築かれることを願って名づけたものです。展示作品は、水彩、クレヨン、鉛筆、布や糸による織り、立体造形など、様々な画材や手法が用いられています。既存の美術の枠組みに捉われない表現は、鑑賞者の新鮮な気づきを生むきっかけにもなっています。会場に設置したメッセージカードには「眺めて心が落ち着きました」「パワーがあふれていて元気をもらいました」といった声が寄せられ、これらは全てアーティストに届けています。



50回目の展示では、奈良県のたんぼの家アートセンター HANAで演劇プログラムに取り組んでいるチーム「HANA PLAY」の活動を映像やパネルで紹介しました。(2023/9/27~11/26開催)

Photo : Kato Ken

### Fellow Art Gallery vol.51 牧島美帆 展

2023/11/29(水) -  
2024/1/21(日)

●2階ラウンジ

横浜市港北区の「アートかれん」で絵画や刺繍の創作活動をしている牧島美帆による、野菜や果物、動物などをアクリル絵具で描いた平面作品と刺繍・羊毛フェルト作品を紹介します。



《クローバーの絵》2016年

表紙画像上: 「Fellow Art Gallery vol.51 牧島美帆 展」の様子(2023/11/29 ~ 2024/1/21) Photo: Kato Ken



横山奈美  
「Shape of Your Words - K.T. -」2022 /  
麻布に油彩 / 131x163cm  
Photo: Hayato Wakabayashi  
©Nami Yokoyama  
Courtesy: Kenji Taki Gallery



塩田千春  
「State of Being (Pages)」2021 /  
鉄枠、糸、紙 / 70x35x35cm  
Photo: Sunhi Mang  
©JASPAR, Tokyo,  
2023 and Chiharu Shiota



金氏徹平  
「Teenage Fan Club #99」2020 /  
プラスチックフィギア、  
ホットグルー / 420x260x310mm  
Photo: Hiroshi Noguchi  
Courtesy: Art Front Gallery

## 横浜市所蔵カメラ・写真コレクション

当館で収蔵している「横浜市所蔵カメラ・写真コレクション」は、アメリカのサーマン・F・ネイラー氏が40年にわたって世界各地から収集した貴重なコレクションで、横浜市が1993～1994年度に取得し、日本へとやってきました。当館では、本コレクションを、様々な角度からご紹介しています。

### Web展覧会

## 横浜市所蔵カメラ・写真コレクション来日30周年 みどころキューブ

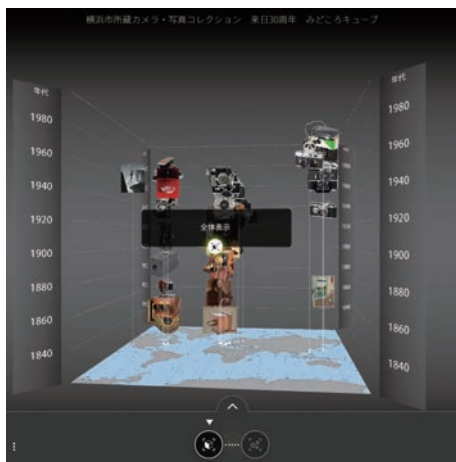
📅 2023/9/19(火)～2024/3/31(日)

📍 オンライン

<https://artazamino.jp/event/post-10512>

🤝 協力 DNP、早稲田システム開発株式会社

本コレクションの来日30周年を記念して、約12,000点の収蔵品から厳選した50点を最新のデジタルアーカイブで紹介しています。



### ギャラリーインザロビー

エントランスロビーに設けたショーケースで、横浜市所蔵カメラ・写真コレクションを紹介しています。

## カラフルなカメラ

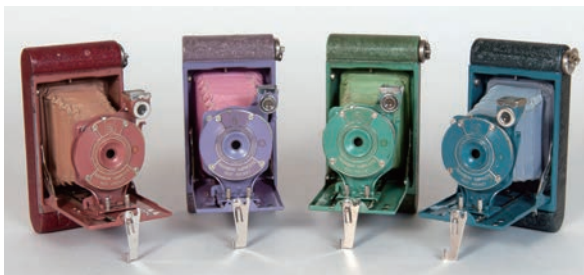
📅 3/12(火)～3/31(日)

9:00～21:00 ※最終日～17:00

📍 1階エントランスロビー

持っているだけで楽しくなるようなカラフルなカメラを展示します。

レインボー・ホーク=アイ・ベスト・ポケット/イーストマン・コダック・カンパニー/1931年



## Gallery on the Magazine

— 横浜市所蔵カメラ・写真コレクション —

vol. 61

### ミノルタ16

ポケットに入れていつでも撮影できる超小型カメラは、写真を身近にするアイテムです。日本では、第二次世界大戦後に進駐軍のお土産用や輸出用に、16mmフィルム用や16mmシネフィルムを写真撮影に転用する超小型カメラが大量につくられるようになりました。玩具のような製品が大半を占める中で、徐々に精巧な製品が現れます。1957年に日本の千代田光学精工株式会社(後のコニカミノルタ株式会社)が発売したミノルタ16もその一つです。

ミノルタ16は、もともとアマチュアカメラ愛好家で後に甲南カメラ研究所を創業する西村雅貴と、写真家のハナヤ勘兵衛が製造したミカ・オートマートを千代田光学が1950年に量産化した製品、コーナン16オートマートを更に改良したものです。マッチボックス型の外装から中箱を引き出すと

シャッターがチャージされ、押し込むとフィルムが一コマ分送られる仕組みになっています。ミノルタ16の発売時、フィルム送りの際にフィルムが傷つかないように細かい改良が加えられ、その精巧な作りは日本の超小型カメラが本格的なカメラとして国際的に評価される要因の一つとなりました。アルミを外装に使用しているため軽量で、銀の他に多色のカラーバリエーションで展開しています。ミノルタ16の軽快な操作性とカラフルなデザインは、カメラを持つ楽しみを高めてくれます。



ミノルタ16 / 千代田光学精工株式会社 / 1957年

※ミノルタ16は、本ページに掲載の展覧会、Gallery in the Lobby「カラフルなカメラ」でご覧いただけます。

## アート+認知症 やさしい美術鑑賞プログラム

美術鑑賞には、脳を活性化させ、健康寿命を延伸させる効果があるとされています。認知症の方も、ご高齢の方も、ご家族や介護者も、みんなでおしゃべりしながら美術鑑賞を楽しんでみませんか。

### やさしい美術鑑賞会 保育あり

📅 1/17(水) 10:30～12:00

1/19(金) 13:30～15:00

📄 主な内容(予定)

- ・アトリエにて複数の作品を鑑賞
- ・アートフォーラムあざみ野施設内お散歩
- 👤 高齢者・認知症の方と、ご家族・介護者 各日8組程度
- 📍 3階アトリエ 🆓 無料



2022年度の鑑賞会の様子

📄 要事前申込/先着順 ホームページ「申込フォーム」からお申込みください。

## Welcome! / ロビーコンサート

音楽とともに過ごす ひとときの

地域の方々や、横浜市民広間演奏会メンバーが多彩なプログラムをお届けします。

📅 各日12:00～12:40 🆓 入場無料/予約不要

1/7(日) 太鼓の演奏と獅子舞で初春を祝います

👤 出演 横浜都筑太鼓

📍 アートプラザ(正面玄関前)

3/17(日) 出演 前半:金子都 **Vn** 佐伯水美 **Pf**

後半:高井洋子 **Cl** 殿岡芽依 **Fg** 大井郷誉 **Pf**

📄 曲目 モリコーネ:ニュー・シネマ・パラダイス

グリーンカ:悲槍三重奏曲 ほか

📍 1階エントランスロビー

**Vn** ヴァイオリン **Pf** ピアノ **Cl** クラリネット **Fg** ファゴット



横浜都筑太鼓

## one-dayショップのご案内

### あざみ野 フェローマルシェ

障がい者福祉施設などで作られた美味しい食べ物やオリジナル雑貨を販売する1日限定のマルシェです。 ※5月以降より開催予定。お楽しみに!

### まんなかのパン屋さん

第2・第4水曜および第3金曜販売(不定期)

からだにやさしい、おいしい、たのしい、焼きたてパンの販売!

📍 1階エントランスロビー 📅 各日11:40頃～売切れ次第終了

👤 出店 「陽だまり」「しろくまのパン屋さん」

### アートプラザのお弁当屋さん

日曜販売(不定期)

地元の旬野菜を使った手づくり弁当、あざみ野駅前スープ屋さんのパエリア弁当などを販売します!

📍 アートプラザ(正面玄関付近) 📅 各日11:00頃～売切れ次第終了

👤 出店 「コマデリ」「ソパ・イ・ヴィダ」



※詳しい日程や出店情報はホームページをご覧ください。

📅 日時 🏠 休館日 ✂ 締切 👤 対象・定員 📍 場所 💰 料金 🗣 講師

## 子どものためのプログラム

年間を通して子どもを対象にした  
アートプログラムを開催しています。  
3階アトリエにあそびに来てね!

あざみ野ファミリーワークショップ

### 空き箱カメラをデコろう

2/18(日) 2/2(金)

①10:30～11:30 ②13:30～14:30

小学生以下の子どもとその保護者  
各回10グループ(1グループ5名まで)

山内地区センター集会所A  
(横浜市青葉区あざみ野2丁目3-2)  
※会場が変更になっています。

①1グループ1,000円(材料費込) ②うめぐみ



### 木でお道具箱をつくろう

3/17(日) 3/1(金)

①14:00～16:00 ②小学1～3年生 20名

③1,500円(材料費込) ④こいちりょうじ



その他のプログラムや詳細は、  
当館ホームページやチラシをご覧ください。

## あざみ野 親子のフリーゾーン

【申込予約制(応募多数の場合は抽選)】【有料】【定員制】にて開催します。

- 1月 - 11日(木)、13日(土)、21日(日)  
- 3月 - 14日(木)、17日(日)、23日(土)  
- 4月 - 11日(木)、21日(日)、27日(土)  
※臨時休館のため2月のフリーゾーンはありません。

申込受付期間

各月ごとに開催前月の15日～25日

①各日10:00～11:30

小学生以下の子どもとその保護者

各日30グループ程度(1グループ5名まで)

②ひとり100円(子ども・大人共通料金、当日支払)



## 障がいのある子どもたちのための 親子で造形ピクニック

絵の具・紙・粘土で遊びながら、親子でゆったり過ごせる時間です。

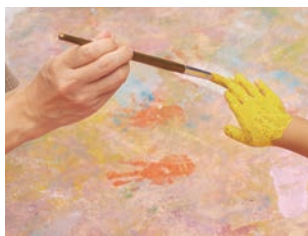
1/20、3/16、4/13(すべて土曜)

※臨時休館のため2月の造形ピクニックはありません。

③各開催日の10日前

④各日10:00～12:00 ⑤個別支援学級、特別支援学校等に  
通うお子さんとその保護者、きょうだい、お友だち  
各日10グループ程度(1グループ5名まで)

⑥4歳以上の子ども100円(当日支払)



## 市民のためのプログラム

横浜市民ギャラリーあざみ野3階アトリエでは、  
はじめての方でも楽しく制作を体験できる  
プログラムを開催しています。  
みなさまのご参加をお待ちしています!

### ショーケースギャラリー関連ワークショップ

#### 紙と陶に描く「いつかどこかの風景」〈全2回〉

保育あり

3/20(水・祝) 10:00～15:00

3/30(土) 13:00～15:00

2/28(水)

心に浮かぶ風景を紙と陶器に描き、  
その作品を組み合わせて置いて、  
思い通りに「風景」を眺めるワークショップ

①中学生以上 15名

②2,500円(材料費・焼成代込、全2回分)

③進藤詩子



進藤詩子 / It recalls what I still don't know / 2022年  
Photo: Lucy Foster

## あざみ野カレッジ

アートの領域をひろげ、生活の中にある  
もっといろいろ知りたいことを学ぶための学び舎。

### よこはま縁むすび講中

#### 横浜市歴史博物館 × 横浜市民ギャラリーあざみ野

横浜市歴史博物館と当館が、学芸員をトレードする形で連携講座を開催。歴史・考古学の専門家と、美術・写真の専門家が、それぞれの取り組みや魅力をお話します。

#### ①かやぶき屋根プロジェクトって何?

一弥生時代の家を自分たちで少し直してみようと思ったら、  
いろいろな人たちと知り合えた話

保育あり

1/20(土)

①14:00～16:00

②橋口豊(横浜市歴史博物館 学芸員)

③高校生以上40名

④横浜市民ギャラリーあざみ野3階アトリエ

⑤あざみ野カレッジ学生証料金500円/  
一般料金1000円

主催 横浜市民ギャラリーあざみ野



デザイン: やなぎ堂



#### ②写真が可視化したもの

～横浜市所蔵カメラ・写真コレクション探訪

2/10(土)

①14:00～16:00

②日比谷安希子(横浜市民ギャラリーあざみ野 学芸員)

③高校生以上40名

④横浜市歴史博物館 研修室

⑤500円(あざみ野カレッジ学生証料金・一般料金 共通)

主催 横浜市歴史博物館



(C) NOMURA KEIKOSHI

#### 「よこはま縁むすび講中」とは

横浜北部(旧港北区4区:港北区、緑区、青葉区、都筑区)に存在する地域文化遺産と  
市民の皆さまをつなぐ取り組みです。



お知らせ

2024年度の開催から、一律1,000円とさせていただきます。

詳細が決まり次第、キャンパス通信およびホームページ等でお知らせいたします。

保育あり

マークのある講座・イベントにご参加の方は、開催時間中に1階「子どもの部屋」の一時保育を主催事業保育

料金にてご利用いただけます。【事前予約制、対象年齢:1歳6カ月～未就学児】

予約・問合せ: アートフォーラムあざみ野「子どもの部屋」TEL 045-910-5724

## 講座の 申込方法

子どものための  
プログラム

ホームページ 各プログラムの申込フォームからお申込みください。  
■ 応募多数の場合は抽選です。

市民のための  
プログラム

ホームページ 各プログラムの申込フォームからお申込みください。  
直接来館 2階事務所へお越しください。  
■ 応募多数の場合は抽選です。

あざみ野カレッジ

ホームページ 各プログラムの申込フォームからお申込みください。  
■ 申込み先着順です。定員に達し次第、受付を終了します。

講座内容の詳細は、当館ホームページやチラシでご確認ください。

・「子どものためのプログラム」は、対象年齢が該当する場合はきょうだい連名でお申込みいただけます。お友だち同士の連名の申込は「あざみ野親子のフリーゾーン」「親子で造形ピクニック」「あざみ野ファミリーワークショップ」のみ可能です。  
・締切後は抽選結果にかかわらず申込者全員にご連絡いたします。締切日1週間を過ぎても連絡がない場合はお問合せください。(あざみ野カレッジは先着順)  
・締切日を過ぎても定員に満たない場合は先着順で電話申込を受け付けます。(あざみ野カレッジを除く)  
・複数のプログラムに参加を希望される場合は個別にお申込みください。  
・お預かりした個人情報は横浜市芸術文化振興財団個人情報保護方針に基づき厳重に管理し、プログラムに関わる連絡以外の目的で使用することはありません。

## Eat & Smile

Cafe / Shop / Order Cakes

季節の食材を使ったスイーツやお食事をご用意してお待ちしております。スイーツやお食事のテイクアウト、世界に一つのオーダーケーキのご注文も承っております。

営業時間 イートイン11:30~17:30 (17:00 LO)  
テイクアウト11:30~18:00

定休日 水曜日、第1・第3日曜日(不定休あり)  
横浜市青葉区あざみ野南1-16-8大谷ビル1B

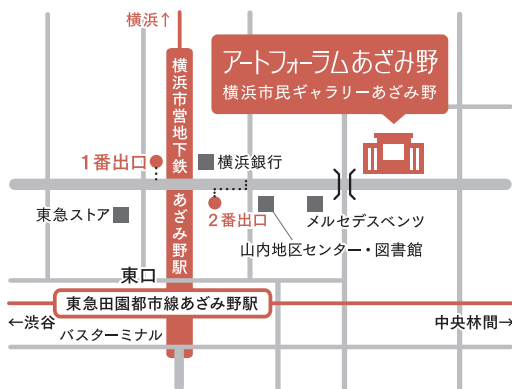
TEL 045-509-1333

## 臨時休館について

横浜市民ギャラリーあざみ野は、アートフォーラムあざみ野の正面エントランスの天井パネル交換工事を行うため、2024年2月1日(木)から2024年3月11日(月)までの期間、臨時休館いたします。ご利用の皆さまにおかれましては、ご不便とご不自由をおかけしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。休館期間のお問合せは以下のとおりとなります。また休館中のイベントにつきましては随時ホームページ・SNSでお知らせいたします。

休館期間 **2024/2/1(木)～3/11(月) 40日間**

休館期間中のお問合せ 月～金(祝日を除く) 9:00～17:00  
TEL:045-910-5656 FAX:045-910-5674  
ホームページ内お問合せフォーム



横浜市営地下鉄  
「あざみ野」駅下車「1・2番出口」から徒歩5分  
東急田園都市線  
「あざみ野」駅下車「東口」から徒歩5分  
※駐車場(27台)は有料・予約制(045-914-5910)  
※駅からのアクセスがご不安な方はご相談ください。  
※アートフォーラムあざみ野は帰宅困難者一時滞在施設です。



ホームページ  
<https://artazamino.jp/>

フェイスブック  
[www.facebook.com/artazamino](http://www.facebook.com/artazamino)

X(旧ツイッター)  
@artazamino

インスタグラム  
@artazamino

### あざみ野メンバーズ MAILNEWS

展覧会・ワークショップ・コンサート等々、あざみ野や横浜市内で行われる旬なアート情報を定期的に無料のメールマガジンでお届けします!

### 展示室・アトリエを使ってみませんか?

個人あるいはグループで展覧会を開催したり、アトリエでの制作活動を行ったりできます。施設貸出についての詳細は当館ホームページでご案内しています。

掲載している内容は2023年12月1日時点の情報です。催事内容、時間などが変更もしくは中止になる場合がございます。最新情報はホームページ等でご確認ください。



## 横浜市民ギャラリーあざみ野

開館時間：9:00-21:00  
休館日：毎月第4月曜日、年末年始  
エントランス天井パネル交換工事のため臨時休館：2024年2月1日(木)～3月11日(月)  
〒225-0012 横浜市青葉区あざみ野南1-17-3 アートフォーラムあざみ野内  
TEL:045-910-5656 FAX:045-910-5674

編集発行：横浜市民ギャラリーあざみ野(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団) 発行日：2023年12月27日  
デザイン：株式会社セルワールディング 印刷：株式会社神奈川機関紙印刷所 ©Yokohama Civic Art Gallery Azamino 2023

## ギャラリーカレンダー

エントランス天井工事のため臨時休館  
2月1日(木)～3月11日(月)

休館日(毎月第4月曜及び年末年始)：1月1日(月)～3日(水)、22日(月)、3月25日(月)、4月22日(月)  
🕒時間 🕒初日の開場時間 🕒最終日の閉場時間 📅休館日 📍あざみ野 横浜市民ギャラリーあざみ野主催事業料金の記載のないものは入場無料の展覧会です。

### 1月

「紡ぐ」美術展 ～人生を、歴史を、想いを～  
1/6(土)～1/7(日)  
展示室1階全室

有料老人ホーム 合同美術展 開催。約170点。  
🕒10:00～17:00 🕒10:00 🕒17:00  
主催：株式会社ベネッセスタイルケア 東京・神奈川エリア事業本部 作品展PJ

横浜・道産子軍団と仲間たち・  
プラモデル展示会

1/6(土) 🕒11:00～18:00  
1/7(日) 🕒10:00～18:00  
展示室2階・A  
模型誌の作例など飛行機・艦船など展示。約100点。  
主催：横浜・道産子軍団と仲間たち

第66回「明日への手」美術展 神奈川展

[前期]1/13(土) 🕒10:00～16:00  
1/14(日) 🕒10:00～15:00  
[後期]1/20(土) 🕒10:00～16:00  
1/21(日) 🕒10:00～15:00  
展示室1・2階全室  
幼児から大人まで1000点以上を展示。  
主催：芸術による教育の会  
<https://www.geijyutuniyoru.com/>

### 3月

「水陽・明水会展」「水陽・ION会展」合同展  
3/12(火)～3/18(月)  
展示室1・2階全室

風景や静物を透明水彩で爽やかに描いた作品。約300点。  
🕒10:30～17:00 🕒13:00 🕒16:00  
主催：水陽・明水会  
<https://www.igarashi-suisai.jp/index.html>

「水陽・青葉会展」「水陽・美芳会展」合同展  
3/19(火)～3/24(日)  
展示室1・2階全室

風景や静物を透明水彩で爽やかに表現。約300点。  
🕒10:30～17:00 🕒13:00 🕒16:00  
主催：水陽・青葉会  
<https://www.igarashi-suisai.jp/index.html>

第10回 森村学園中高等部美術部展覧会  
3/27(水)～4/1(月)  
展示室1階全室

多彩な作品群と共同制作を展示します。約100点。  
🕒10:00～18:00 🕒10:00 🕒15:00  
主催：森村学園中高等部美術部  
<https://morimura.ac.jp/jsh/>

横浜あおば 玉田ガラス工房展  
3/28(木)～3/31(日)  
展示室2階・B

吹きガラス技法により制作された作品を展示。約50点。  
🕒10:00～17:00 🕒10:00 🕒16:00  
主催：横浜あおば 玉田ガラス工房  
<https://glass-flow.com/>

### 4月

第13回 横浜画塾展 一水彩・新時代への提言—  
4/2(火)～4/8(月)  
展示室1・2階全室

横浜画塾塾生の1年半のチャレンジの集大成。約300点。  
🕒10:00～18:00 🕒14:00 🕒16:00  
主催：横浜画塾

アートユニオン青葉合同写真展

4/9(火)～4/15(月)  
展示室1・2階全室  
青葉・都筑地区フォト4団体による合同写真展。約240点。  
🕒10:00～17:00 🕒13:00 🕒16:30  
主催：アートユニオン青葉

レ・コピヌ絵画展

4/16(火)～4/21(日)  
展示室1階・B  
絵を描く喜びと難しさを愉しむ仲間の作品展。約25点。  
🕒10:00～17:00 🕒13:00 🕒16:30  
主催：レ・コピヌ

西陣美術織 伊藤若冲展

4/17(水)～4/21(日)  
展示室1階・A  
江戸中期の奇才「若冲」の絵を西陣織で復元。約70点。  
🕒10:00～17:00 🕒10:00 🕒16:00  
主催：西陣美術織 全国巡回展 実行委員会

蒼騎会 第7回 神奈川支部絵画展

4/17(水)～4/21(日)  
展示室2階・A  
多彩な画風の絵画とこどもたちの作品を展示。約40点。  
🕒10:00～16:00 🕒10:00 🕒14:00  
主催：蒼騎会神奈川支部  
<http://www.sokikai.com>

十二景—美学校ペインティング講座修了展

4/17(水)～4/21(日)  
展示室2階・B  
国も年齢も違う12人の制作成果です。約60点。  
🕒10:00～19:00 🕒10:00 🕒17:00  
主催：美学校 ペインティング講座

現代アート Private Collection

4/24(水)～5/5(日・祝)  
展示室1・2階全室  
詳細は2・3ページ「展覧会 Pick Up」をご覧ください。  
🕒10:00～18:00 🕒10:00 🕒18:00  
主催：Private Collection 実行委員会  
共催：横浜市民ギャラリーあざみ野  
<https://www.instagram.com/contemporary.privatecollection/>

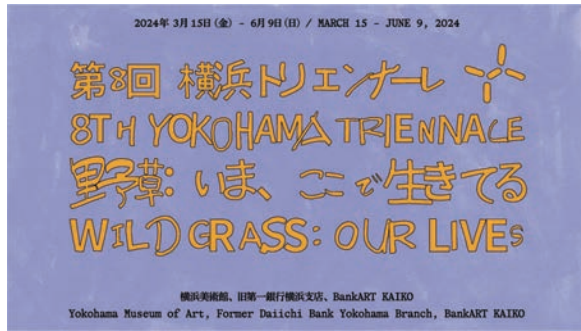
ギャラリーカレンダーの  
詳しい情報はこちら!

<https://artazamino.jp/gallery/gallery-schedule/>



横浜美術館

第8回横浜トリエンナーレ「野草：いま、ここで生きてる」



2021年からの大規模改修工事により休館していた横浜美術館が、3年に一度開催する現代アートの国際展で、いよいよリニューアルオープン。この他2つの歴史的建造物もメイン会場に、最先端のアートと多彩なプログラムをぜひお楽しみください。



横浜美術館 Photo: 笠木靖之

3/15(金)～6/9(日)

10:00～18:00

毎週木曜日(4/4、5/2、6/6を除く)

お問合せ

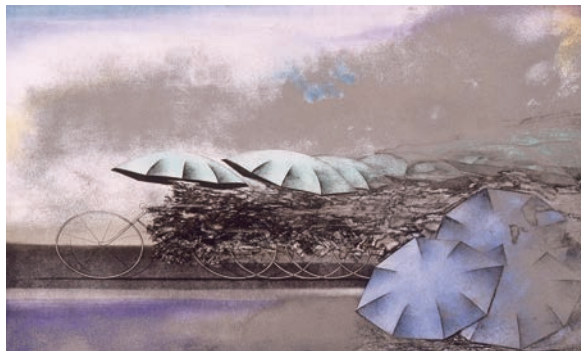
横浜トリエンナーレ組織委員会事務局  
〒220-0012 横浜西区みなとみらい3-4-1 横浜美術館内  
TEL: 045-663-7232 FAX: 045-681-7606 ホームページ: <https://www.yokohamatriennale.jp/>  
※横浜美術館は大規模改修工事のため、2024年3月14日まで休館

横浜市民ギャラリー

横浜市民ギャラリーコレクション展2024 版をうつす



横浜市民ギャラリーの約1,300点の所蔵作品から、年に一度テーマを設けてお届けするコレクション展。今年度は、現代版画作品の多様な魅力をお楽しみいただけます。木版画と銅版画それぞれの味わい、写真を用いた版表現の広がりをご紹介しますほか、小特集として版画家・一原有徳の作品を展示します。

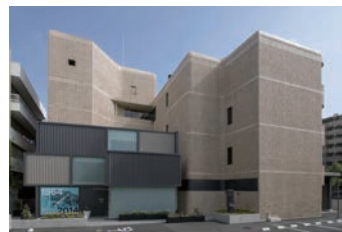


黒田茂樹(Sand glass)1990年/  
エッチング、アクアチント、ルーレット、ドライポイント、リフトグラウンド/  
38.5×61.0cm

2/23(金・祝)～3/10(日)

10:00～18:00  
(入場は17:30まで)

- 会期中無休
- 横浜市民ギャラリー展示室1、B1
- 無料



横浜市民ギャラリー Photo: UESUGI Akira

お問合せ

〒220-0031 横浜西区宮崎町26-1  
TEL: 045-315-2828  
FAX: 045-315-3033  
ホームページ: <https://ycag.yafjp.org/>

各種展覧会への搬入搬出・会場設営・梱包発送・海外展等

有限会社 **アトーン** since1987

〒252-0821 神奈川県藤沢市用田 211-4

TEL: 0466-48-8488

Email [arton.event@gmail.com](mailto:arton.event@gmail.com)

Web <https://www.arton.events>

額縁、キャンバス等割引価格にて販売中。詳しくは **web** で!

開催報告①

あざみ野コンテンポラリーvol.14  
長谷川繁 1989—

開催しました!



美術という枠や社会的評価にとらわれず、様々なジャンルのアーティストが行っている表現活動に目を向けたシリーズ展「あざみ野コンテンポラリー」。その第14回は、約40年にわたって絵画を表現手段としてきたアーティスト、長谷川繁による個展を開催しました。長谷川は、1988年愛知県立芸術大学大学院を修了後、1989年にヨーロッパに渡り、デュッセルドルフ芸術アカデミー、ヤン・ディベツクラスで学び、その後はアムステルダムに移り、国際的なレジデンス施設「デ・アトリエズ」に2年間在籍しました。1996年に帰国し日本に拠点を移してから、たびたびオランダに滞在しながら絵を描き続けてきました。この展覧会では、1989年から92年までのドイツ滞在中に描いた41点の連作をはじめ、オランダ滞在期の長辺約3mの大型作品など、未発表の貴重な作品群を中心に、2000年代以降今日に至る116点の油彩画と資料の展示によって、作家の画業を概観することのできる初めての個展となりました。長谷川の絵画において変わらないもの、刻々と変化してきたものは一体何なのか、鑑賞者と共に長谷川作品から受け取ることができる「豊かな謎」を、それぞれの眼と記憶に刻む展覧会となりました。会期中は、アーティスト・トークをはじめ、美術家で長谷川氏と親交がある加藤泉氏(美術家)との対談のほか、担当学芸員によるギャラリー・トークを開催しました。



会場風景 Photo: Kato Ken

2023年10月7日(土)～10月29日(日)全22日間  
休館日: 10月23日(月) 会場: 展示室1 出品作家: 長谷川繁 出品点数: 117件(油彩画116点+資料類)  
展覧会入場者数1,863名+関連事業参加者数127名 合計1,990名